

特別養護老人ホームかけはし重要事項説明書

(目的)

この規程は社会福祉法人山形虹の会が開設する特別養護老人ホームかけはし（以下「特養施設」という）は、本体施設である介護老人保健施設かけはしのサテライト型施設として適切な運営を確保するために、人員及び管理運営に関する事項を定めるとともに、特養施設の従業者が、要介護状態にある高齢者に対し適正な介護保険施設サービスを提供するために留意すべき事項を定めることを目的とする。

(運営の方針)

特養施設の従業者は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、特養施設サービス計画に基づき、その者がその居宅での生活に復帰することを目的として、看護、介護及び機能訓練その他必要なケアを提供することにより、日常生活を営むことができるよう支援するものとする。

2 特養施設の従業者は、入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って介護保険施設サービスの提供に努める。

3 介護保険施設サービス等の実施に当たっては、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(施設の名称等)

(1) 名 称 特別養護老人ホームかけはし

(2) 所在地 鶴岡市民田字代家田99番1

(従業者の職種、員数及び職務の内容)

特養施設に勤務する職種、員数及び職務の内容は、次のとおりとする。

(1) 管理者 1名

管理者は、特養施設の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。

(2) 従業者

医師 1名以上

看護職員 0名以上

介護職員 5名以上

生活相談員 0名以上

管理栄養士 1名以上

介護支援専門員 1名以上

従業者は、介護保険施設サービスの提供に当たる。

(3) 事務職員 1名以上

必要な事務を行う。

(入居者定員)

入居定員は29名（3ユニット。空きベッドを活用し、ショートステイを行う）

(介護施設サービスの内容及び利用料等)

介護施設サービスの内容は次のとおりとし、サービスを提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額の各利用者の負担割合に応じた額とする。その他の費用についても詳細は別紙料金表に記載する。

- (1) 入浴、排泄、食事等介護及び日常生活上の世話
- (2) 機能訓練及びその他必要な看護
- (3) 療養上の世話
- (4) 健康チェック

2 特養施設は、前項に掲げる費用に係わるサービスの提供に当たっては、予め入居者又はその家族に対し、当該サービスの内容及び費用について説明を行い、入居者の同意を得ることとする。なお、やむをえない事情等により当該内容及び費用の変更がある場合には、予め入居者又はその家族に対し説明を行い、入居者の同意を得ることとする。

(施設生活での留意事項)

入居者は、運営規定にそってサービスを受けることとする。

2 入居者は、次の点に留意する。

- (1) 入居生活においては特養施設の規則を守り、他の迷惑にならないようにする。
- (2) 気分が悪くなったときはすみやかに申し出る。
- (3) 共有の施設・設備は他の迷惑にならないようにする。

(非常災害対策)

特養施設は、防火管理について責任者を定め、非常災害に関する防災計画を作成し、非常災害に備えるため、定期的に避難・救出等訓練を行う。

(事故発生時の報告)

事業所は、重大事故及び速やかに事故報告の提出が必要な事故が発生した際には、保険者に報告する。

(虐待防止に関する事項)

事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図る。
- (2) 虐待の防止のための指針を整備する。
- (3) 従業員に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施する。
- (4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業員又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(その他運営についての留意事項)

特養施設は、従業員の質的向上を図るための研修の機会を設けるものとする。

2 従業員は、業務上知り得た入居者又はその家族の秘密を保持する。

- 3 従業者であった者に、業務上知り得た入居者又はその家族等の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との個人情報保護に関する誓約書の内容に含むものとする。
- 4 施設は、適切なサービス提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業者の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じるものとする。
- 5 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人山形虹の会と特養施設の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

個人情報利用の目的

当事業所では、入居者様の尊厳を守り安全に配慮する法人理念の下、お預かりしている個人情報について、利用目的を以下のとおり定めます。

【入居者様への介護サービスの提供に必要な利用目的】

[法人事業所内部での利用目的]

- ・ 当事業所が入居者様等へ提供する介護サービス
- ・ 介護保険事務
- ・ 介護サービスの入居者様に係る当施設の管理運営業務のうち
 - ▶ 入退居等の管理
 - ▶ 会計・経理
 - ▶ 事故等の報告
 - ▶ 当該入居者様への介護・医療サービスの向上

[他の事業者等への情報提供を伴う利用目的]

- ・ 当施設が入居者様に提供する介護サービスのうち
 - ▶ サービス担当者会議等での連携及び係る照会への回答
 - ▶ 入居者様の診療等に当たり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - ▶ 検体検査業務の委託その他の委託業務
 - ▶ 家族等への心身の状況説明
- ・ 介護保険事務のうち
 - ▶ 審査支払い機関へのレセプトの提出
 - ▶ 審査支払い機関又は保険者からの照会の回答
- ・ 損害賠償保険などに係る保険会社等への相談又は届け出等

[その他]

- ▶ 入居者様の求めに応じたサービス提供記録の開示

【上記以外の利用目的】

[当法人事業所内部での利用に係る利用目的]

- ・ 当事業所の管理運営業務のうち
 - ▶ 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
 - ▶ 当事業所で行われる学生等への実習の協力
 - ▶ 当事業所で行われる事例研究

[他の事業所等への情報提供に係る利用目的]

- ・ 当事業所の管理運営業務のうち
 - ▶ 外部監査機関への情報提供
 - ▶ 山形虹の会と福祉を良くする友の会加入のお勧め